

トキョー
協働空間



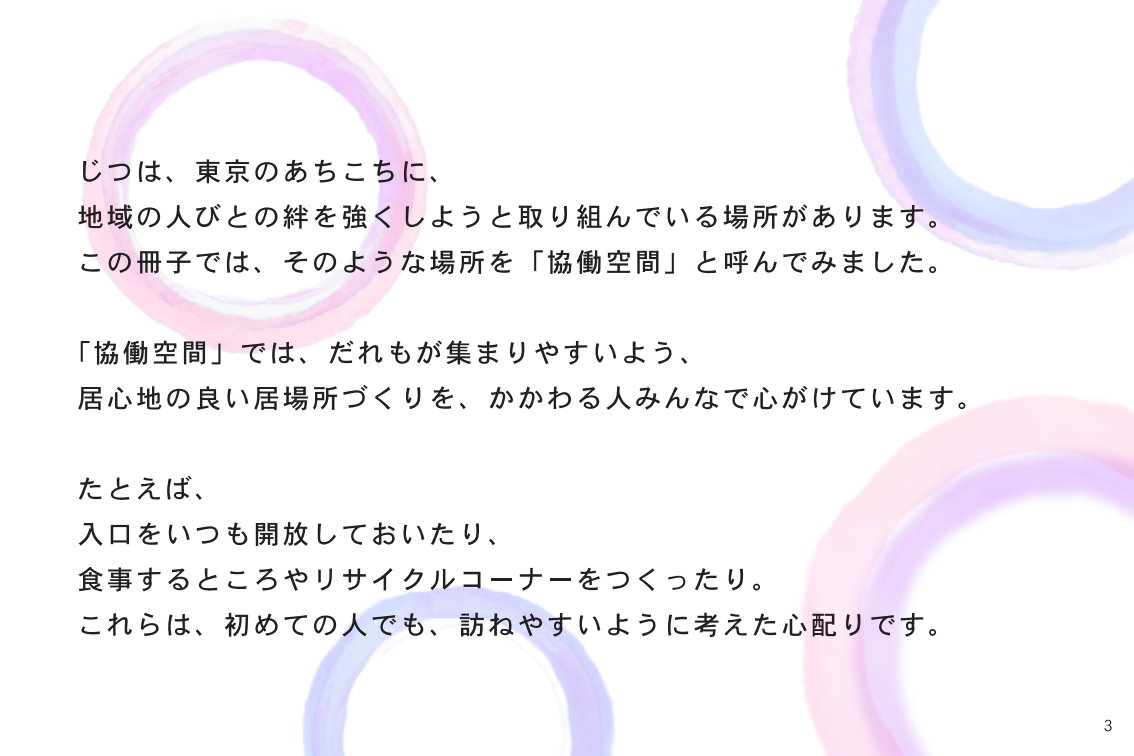
みんなで作る日だまりのような居場所

協働空間とは

毎日の暮らしの中で、気になる話を聞くことがあります。
近所にあいさつできる人がほとんどいない
買物に出るのも大変な、一人暮らしのお年寄りが増えている
小さな子どもの子育てに、お母さんが一人で悩んでいる
病気や障害のあることで、働く場や外出する先がみつからない

いつでも、あなたにも起こり得る、人ごとではない話です。

困ったことがあった時、気軽に相談したり、
ちょっとした頼みごとを聞いてくれたり、
そんなつながりが地域の中にあったら、もっと暮らしやすくなるのに…
と思ったことはありませんか？



じつは、東京のあちこちに、
地域の人びとの絆を強くしようと取り組んでいる場所があります。
この冊子では、そのような場所を「協働空間」と呼んでみました。

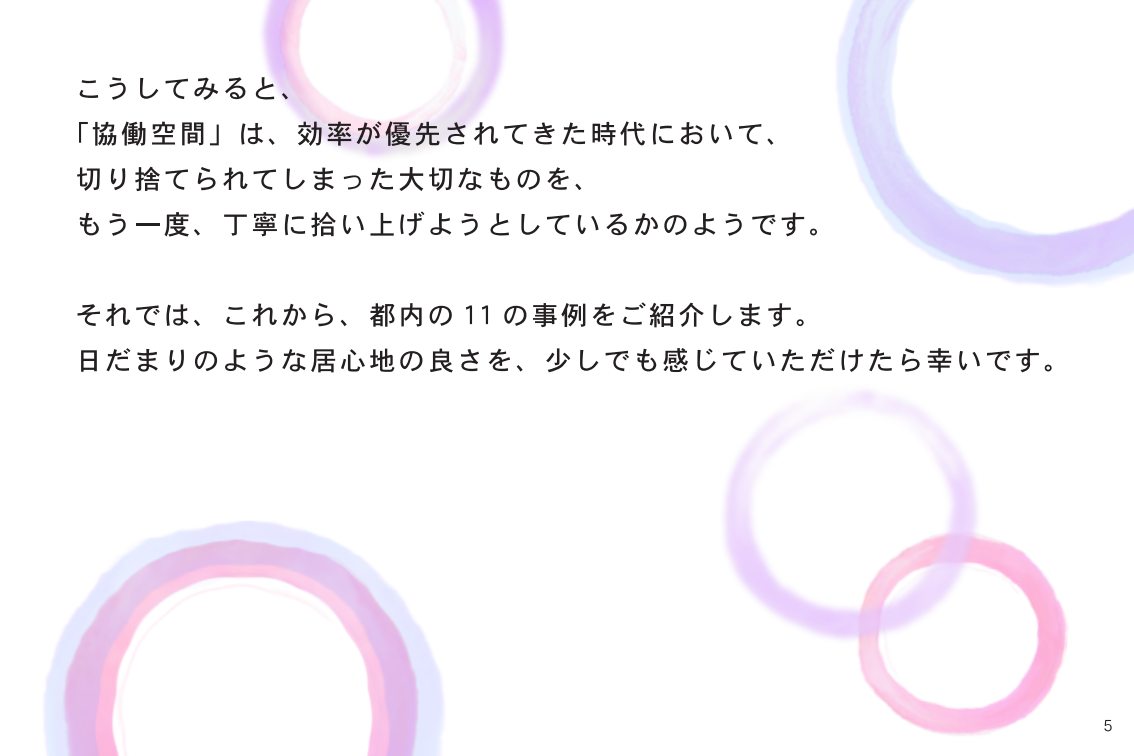
「協働空間」では、だれもが集まりやすいよう、
居心地の良い居場所づくりを、かかわる人みんなで心がけています。

たとえば、
入口をいつも開放しておいたり、
食事するところやリサイクルコーナーをつくったり。
これらは、初めての人も、訪ねやすいように考えた心配りです。

また、多少おしゃべりの度が過ぎようと、
ソファやデッキにひとり離れていようと、口出しをする人はいません。

ムリをしない、できることをする、ルールをあまりつukらないなど、
ここを利用する、それぞれのその人らしさを大事にしながら、
みんなで過すための工夫をしています。

このような居心地の良さをつくることで、
協働空間にはたくさんの方が集まってきます。
お年寄りや子ども、中・高校生や大学生、若者や働き盛りの世代の人
元気で明るくておしゃべりが好きな人、テキパキ動く人
人見知りでシャイな人、ゆっくりだけど丁寧な人
病気や障害がある人やない人、気持ちに通じる犬やネコ



こうしてみると、
「協働空間」は、効率が優先されてきた時代において、
切り捨てられてしまった大切なものを、
もう一度、丁寧に拾い上げようとしているかのようです。

それでは、これから、都内の11の事例をご紹介します。
日だまりのような居心地の良さを、少しでも感じていただけたら幸いです。

02 協働空間とは

07 事例紹介

08 芝の家

10 地域の寄り合い所 また明日

12 風まちサロン

14 協働空間の顔 看板図鑑 

16 共同作業所かたくり

18 読書空間みかも

20 みんなの実家@まちや

22 落ち着く 居場所図鑑 

24 つくりっこの家

26 岡さんのいえ TOMO

28 NPO 北町大家族

30 人が立ち寄る しかけ図鑑 

32 サラ Sarah

34 ベーテルひろば

36 みんなが使う 作法図鑑 

38 協働空間情報

44 おわりに

46 参考図書

事例紹介



芝の家

「縁側」は外と中の人をつなぎ、「昔遊び」は今の子どもと昔の子どもをつないでくれる。お年寄りから子どもまで、世代を超えて街の思い出が受け継がれていく、そんな出会いのある場所ができた。



ベーゴマで遊ぶ子どもたち



子どもも大人もおやつは「駄菓子」



今日、学校でね…

近所の大学が運営に協力。
子どもたちと大学生が遊んだり、
昼時にはサラリーマンが休みに来たり



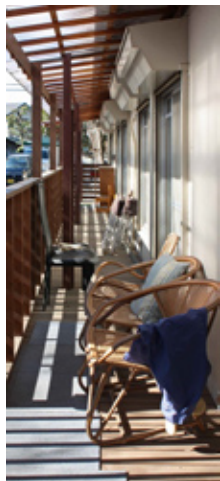
高層ビルが建つオフィス街が隣り合わせる



地域の寄り合い所 また明日

細長く続く長屋風の部屋で、お年寄りと幼い子どもたちが一日を一緒に過ごす。「おはよう」と「ありがとう」のあいさつは、家族のようにふるまう日常の中で、いつの間にか身に付いた。

小金井市



日だまりのデッキが
みんなを迎えてくれる



ときには童謡をメドレーで



アパート1階の全室の壁を取り払ってつくった

元気な子どもたち



みんなのアイドル
“おこげちゃん”



風まちサロン

地域で暮らす誰もが、ふらりと立ち寄り交流できる。障害がある人、外国から来た人、お年寄りから大学生やちびっこたちまで、来たいときにやって来て、過ごしたいように過ごしながら、緩やかにつながっていく、そんな「地域の縁側」だ。



「美味しい珈琲お入れします」



常連さんには
お気に入りの座る場所がある



時には小学生が習字を練習する



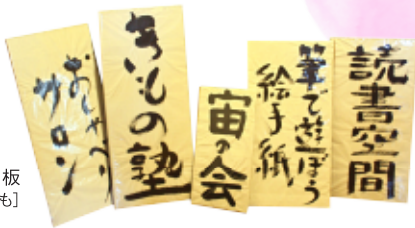
近所の人が立ち寄るリサイクル品コーナー

協働空間の顔 看板図鑑

「welcom」な気持ちを伝えるため、
建物の空間とまちをつなげるよう、
しつらえにいろいろな工夫がされています



家の雰囲気に合わせた表札
[読書空間みかも]



「本日の催し物」を知らせる看板
[読書空間みかも]



道の途中の植木鉢に案内
[みんなの実家@まちや]



「いらっしゃいませ」と
誘われているよう [風まちサロン]



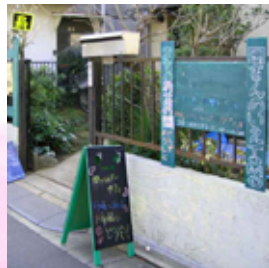
表通りからも目に入る
オレンジ色のオーニング
[ペーテルひろば]

『ペーテルひろば』

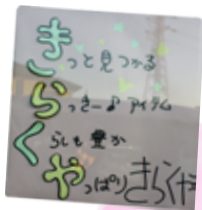


オリジナルキャラクター
「サラばあさん」が迎えてくれる [サラ]

手づくり黒板に
手書きの文字で情報発信
[岡さんのいえ TOMO]



ついつい読んでしまう語呂合わせ
[つくりこの家「きらくや」]



出入口のガラス戸に団体名を大きく記載
[共同作業所かたくり]



大きな窓ガラスは、掲示板の機能も果たす。
縁側に座りながら、情報が得られる [芝の家]





共同作業所かたくり

自分のできることをやっている。隣の人も自分のできることをやっている。みんな
でやったことを合わせると、最後はひとつの完成品になっている。様々な障害を
もつ人が一緒に働ける場所が、ここにはある。

武蔵村山市



村山団地1階の商店街の中にある



働く様子が買物客からよく見える



分業し、
各人ができることを
探しながら役割を担う。
12の工程を経て完成する
「布ぞうり」



読書空間みかも

旧海軍村と呼ばれる街にある私設図書室。大正13年に建てられた木造の家。庭の古木が季節をいろどる。「この空間を大切に使う」それが唯一のルール。読書をしたり、講座を楽しんだり。一歩足を踏み入ると、深呼吸したくなる。

世田谷区



築80年あまりの歴史ある空間へようこそ

とんとんとん、「なんのおと？」



月1回のおはなし会。
ご近所の親子で
にぎやかに

読書空間

本日は「読書空間」の日



子ども用の読書スペース



みんなの実家@まちや

下町の気さくさが残る住宅街の一軒家。「ちょっと見てくれる?」と母親に言う
気軽さで、子どもと遊んでもらったり、あずかってもらったり。奥の部屋では、一
人になって休むこともできる。ここはまるで実家のような。

荒川区



二階家の一階がみんなの居場所。
二階には大家さんが住む



ごはんはこのイスに座って



スタッフや
ボランティアさんの胸には
お手製「布パッチ」

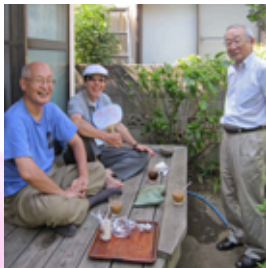


ぽくも遊んで



落ち着く 居場所図鑑

訪れた人が落ち着いて過ごすことができるよう、
居場所づくりの工夫もいろいろです。



縁側で
風にあたりながら
ちょっと休憩
[岡さんのいえ TOMO]

横にもなれる大きなソファ [芝の家]



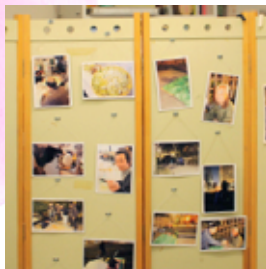
時間が経つのを忘れそうな
窓辺のソファ
[読書空間みかも]





時にはリッチな気分で過したい
[つくりっこの家「クラブハウス」]

かつて一緒に過した
今は亡きおじいさんを想い仏壇に手を合わせる。
心の落ち着くひととき
[地域の寄り合い所 また明日]



ボードにある活動の記録写真は、
人をホッとさせる
[風まちサロン]

デッキがあると、いきなり外に
飛び出すことがないので安心
[地域の寄り合い所 また明日]





裂き織り工房 1



野菜販売のみどりや 2



体育館売店 3



クラブハウス 4



きらくや 6



つくりっこの家 7



喫茶店ぶどうや 5

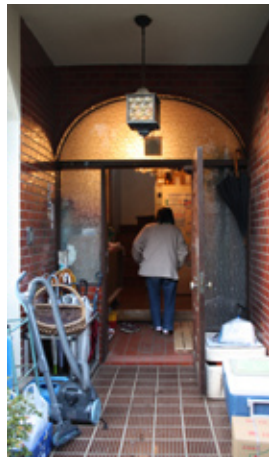


障害があっても、まだなくても、お互いに支えあって暮らしたい。同じ地域の中で生活するには仕事が必要、そう願うと仕事が舞い込んでくる。これを繰り返しながら、地域で働く場を広げてきた。

練馬区



朝のミーティングで、その日の仕事が決まる。
何もしない「フリー宣言」もひとつの役割



クラブハウスの玄関は
真冬でも開けたまま

「私たちは障害のある人もない人も共に生きられる社会を求めています。
この家はその願いを実現するためのささやかな営みの第一歩です。」



岡さんのいえTOMO

近所の子どもたちに英語を教えていた、今は亡き岡ちとせさん。その意思を引き継いだのは、多世代が集まる「見守り隊員」たち。季節を愛でるイベントや、親子の集い、趣味の会合、なんでもできる「まちのお茶の間」が生まれた。

世田谷区



ちゃぶ台を囲んで月1回の運営会議



昭和 25 年頃
学びに通った子どもたち
右端後ろが岡さん

これいくら？



一個十円だよ

決まった日に開かれる
駄菓子屋さん



100 年前の
オルガンや
足踏みミシンは
昔のまま



NPO 北町大家族

商店街会館二階の60畳程の大広間を、週四日地域に開放。思いっきり走っても、大きな声で歌っても、階下はお店だから大丈夫。まちの人みんなを「家族」のように迎えるうちに、助け合いの気持ちの輪が広がった。

練馬区



商店街にあるレンガ風建物が
商店街会館「アートプラザ」



みんなでお裁縫



活動を
立ち上げたのは
商店街の
女将さん4人

カラオケ教室も盛況



もう一つの拠点
「ハーモニー北町」は
相談情報ひろば

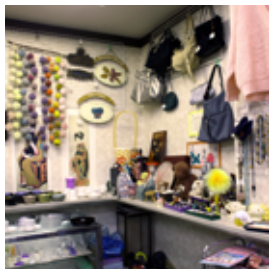


人が立ち寄る しかけ図鑑

「あそこ、〇〇があるから寄ろうかな」
と思ってもらえるよう、
いろいろな工夫がされています



予防接種等の大切な最新情報は、
目立つように掲示
[みんなの実家@まちや]



珈琲一杯が立ち寄るきっかけに
[風まちサロン]

リサイクル店は、購入する時だけでなく寄付する時にも立ち寄ることができる
左：[つくりこの家] 右：[共同作業所かたくり]



地域情報が満載。相談もできる
[NPO 北町大家族 (ハーモニー北町)]



駄菓子を目当てに来る子も多い 左：[岡さんのいえ TOMO] 右：[芝の家]



縁側でひと休みしながら
中の人とお話 [芝の家]



食べ物屋さん、誰もが立ち寄りやすい
[サラ(レストラン)]

レストラン サラ



今日の定食
12:00 - 19:00
肉じゃがの巻
お魚
・カレーライス
・スロウ・コック



レストランサラ

メニュー
営業時間
予約受付
お問い合わせ



サラ Sarah

「隣近所との付き合いが深ければ、いざという時に助け合える」と、出会いの場所として「レストラン」を開店。今では「デイサービス」や「ひろば（集いの場）」もでき、つながりが生まれる3つのしかけでまちを変えてきた。



同じ商店街の
並びにある
「デイサービスサラ」

お弁当の宅配は
安否確認も兼ねている



サラは
「チャンプルーの会」が運営
「サラ」はタイ語で
「みんなの集まる場所」
「チャンプルー」は沖縄方言で
「まぜこぜ」の意味



「ひろばサラ」では
親子参加の講座や
おしゃべり会を開催



歳とってから新しい友だちができることに感謝



ベーターひろば

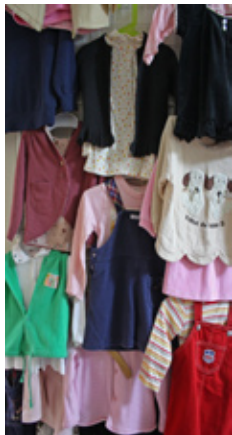
マンション一階の二部屋は、たくさんの親子でいつもにぎやか。転勤で見知らぬ土地に引っ越してきたお母さんも多いけれど、いつの間にか子育て仲間が増えていき、一人で来ても気を許して過せる場所になっている。



ベランダを砂場やプールに



時には、お母さん同士で料理やビーズ小物を教えあう



わたしの服も持って行ってリサイクル



通って来る子どもたちの名札



みんなが使う 作法図鑑

一緒にいる人たちが
お互いに気持ちよく過せるよう
工夫がされています



今日一日、
だれがどこで何をするのか
一覧にして掲示する
[つくりっこの家 (クラブハウス)]

作業終了後には、一日を全員でふりかえる [共同作業所かたくり]



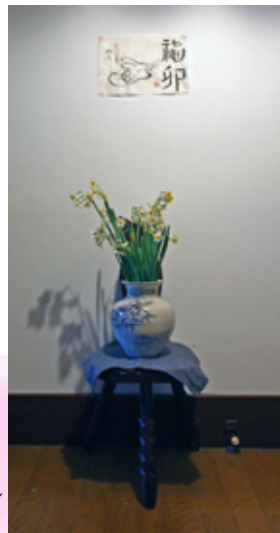
だれもが入りやすくすることを
みんなが心がける。
玄関のドアを開けておくのはそのため
[つくりっこの家 (クラブハウス)]



ゆっくり過ごしてもらうため、食事や昼寝ができる部屋はできるだけスタッフは入らない
[みんなの実家@まちや]



「毎月のスケジュール」が
道路からも見えるので、
買物ついでに確認できる
[NPO 北町大家族]



「この空間を大切に使う」
それが唯一のルール
[読書空間みかも]

協働空間情報

芝の家 (P8)

- 実施主体：港区芝地区総合支所、慶應義塾大学
 - 運営主体：芝の家（スタッフは、大学生から70代までの、地域内外の様々な人）
 - 活動：コミュニティ喫茶や遊び場 / コミュニティイベント / 住民参加型の地域活動 / 環境整備（井戸の設置や緑の里親）等の実施運営
 - 資金：昭和の地域力再発見事業受託費（港区芝地区総合支所）
 - 開設年：2008（平成20）年10月
 - 建物規模：3階建て集合住宅の1階 約60㎡
 - 連絡先：〒105-0014 港区芝 3-26-10 ハイツ猿田1F 電話 / FAX 03-3453-0474
<http://www.shibanoie.net/>
- ◎月火木 11:00～16:00（コミュニティ喫茶）
◎水金土 13:00～18:00（駄菓子と昔遊びのあるオープンスペース）

地域の寄り合い所 また明日 (P10)

- 運営主体：NPO法人 地域の寄り合い所 また明日
 - 活動：認知症対応型通所介護施設「また明日デイホーム」 / 認可外保育施設「虹のおうち」 / 地域の交流スペース「寄り合い所」（誰でも自由に訪問可）の運営
 - 資金：介護事業費、保育園事業費
 - 開設年：2006（平成18）年12月
 - 建物規模：2階建て集合住宅の1階 約205㎡（室内のみ177㎡）5部屋の壁を取り払った長屋風空間
 - 連絡先：〒184-0014 小金井市貫井南町4-14-14 ヴィレッジ・パル 1F
電話 042-386-8280（FAX 末尾 8285）<http://www7b.biglobe.ne.jp/mata-asita/>
- ◎月～土（デイホーム） / 月～金（保育園） / 火・水・木（寄り合い所） ※詳細はお問い合わせください

風まちサロン (P12)

- 運営主体：NPO スープの会
 - 活動：喫茶コーナー / 持ち寄り掲示板 / よろづ相談 / スペース貸し / 無料インターネットの運営
 - 資金：スープの会運営の地域生活支援ホーム事業費、カンパ金
 - 開設年：2004（平成16）年3月
 - 建物規模：4階建て集合住宅の1階 約36㎡
 - 連絡先：〒162-0041 新宿区早稲田鶴巻町508 浅沼ビル1階
電話 / FAX 03-3202-1786 <http://www1.odn.ne.jp/soup1994/>
- ◎水・日を除く 14:00～17:00（ふれあい喫茶コーナー）

共同作業所かたくり (P16)

- 運営主体：NPO 法人 共同作業所かたくり
 - 活動：身体・知的・精神障害の方々による自主製品（布ぞうり・編物等）の制作・販売
 - 資金：地域活動支援センターIII型事業費、リサイクルショップの収益
 - 開設年：2003（平成15）年7月
 - 建物規模：4階建て集合住宅1階の商店街3店舗（店舗と集会室 / 作業所 / 倉庫）1店舗約66㎡
 - 連絡先：〒208-0012 武蔵村山市 緑が丘 1460-48-39（リサイクル店）
電話/FAX042-561-6300（9319）<http://www6.ocn.ne.jp/~katakuri/>
- ◎月～土 9:30～16:00（作業所） 10:00～17:00（リサイクル店）

読書空間みかも (P18)

- 運営主体：読書空間みかも
 - 活動：各種講座やイベントの実施 / スペース貸し等
 - 資金：会費、個別活動の利用料金、バザー等の収益
 - 開設年：2006（平成18）年3月
 - 建物規模：築80年あまりの平屋1軒屋の一部 約50㎡
 - 連絡先：〒158-0083 世田谷区奥沢 2-33-2 電話 03-3718-2011
<http://www.tamamati.com/network/net6.html>
- ◎ほぼ毎日オープン ※詳細はお問い合わせください

みんなの実家@まちや (P20)

- 運営主体：35（産後）サポネット in 荒川（首都大学東京と地域ボランティアによる組織）
- 活動：誰でも自由に来られる子育てひろば「実家倶楽部」/ 一時預かり「駅たま」/ 母と子の相談室 / 民生・児童委員による「子育て交流館：夢民（ムーミン）」の運営
- 資金：地域子育て支援拠点事業受託費 [子育てひろばC型]（荒川区）
- 開設年：2003（平成15）年7月
- 建物規模：2階建て1軒屋の1階 約72㎡
- 連絡先：〒116-0002 荒川区荒川6-27-6 宮内様方 電話/FAX 03-3809-4035
http://www.geocities.jp/kosodate_arakawa/

◎月～金（実家倶楽部）/ 火（駅たま）/ 第2木曜日（子育て交流館）※詳細はお問い合わせください

つくりっこの家 (P24)

- 運営主体：社会福祉法人 つくりっこの家
- 活動：クラブハウス（誰でも寄れる拠点）運営 / 自主店舗運営（リサイクル店「つくりっこの家」有機野菜販売「みのりや」）/ 委託事業（病院内喫茶店「ぶどうや」/ 体育館内売店）/ 自主製品の製作・販売
- 資金：就労継続支援B型事業費、自主事業リサイクルショップの収益
- 開設年：1982（昭和57）年9月 リサイクルショップ「つくりっこの家」開設 ※母体的活動は1978年～
- 建物規模：2階建て1軒家（クラブハウス）約217㎡
- 連絡先：〒178-0061 練馬区大泉学園町1-23-5（クラブハウス）
電話 03-5387-2477（FAX 末尾 2478）<http://www2.ttcn.ne.jp/~tukurikko/index.htm>

◎月～金 9:00～17:00（クラブハウス）※詳細はお問い合わせください

※発行図書：「わけるとふえる つくりっこの家の25年」 つくりっこの家運営委員会著

岡さんのいえ TOMO (P26)

- 運営主体：岡さんのいえ見守り隊員
- 活動：まちのお茶の間「開いてるデーカフェ」、子育てサロン、各種イベント等の運営
- 資金：会費、まちづくり関連の助成金、オーナーの自主財源
- 開設年：2007(平成19)年3月
- 建物規模：2階建て1軒屋の1階と前庭約110㎡
- 連絡先：〒156-0057 世田谷区上北沢3-5-7 電話090-8332-7514 <http://www.okasannoie.com/>
- ◎開いてるデーカフェ：水12:00～16:00 ※詳細はお問い合わせください

NPO 北町大家族 (P28)

- 運営主体：NPO法人 NPO 北町大家族
- 活動：子育てひろば「かるがもの親子の家」/ 高齢者支援「北町いこいの家」/ デイサービス / 相談情報ひろば「ハーモニー北町」/ 地域通貨ガウの発行等の運営
- 資金：子育て支援ひろば事業支援費(練馬区)、生きがいデイサービス事業受託費(練馬区)、商店街等からの寄付等
- 開設年：2000(平成12)年7月北町アートプラザで活動開始
2009(平成21)年6月「ハーモニー北町」開設
- 建物規模：北町アートプラザは2階建て商店街会館の2階約260㎡、ハーモニー北町は4階建の1階約72㎡
- 連絡先：北町アートプラザ / 〒179-0081 練馬区北町2-35-4 電話03-5920-5533/FAX03-3931-8084
<http://kitamachi.com/> ハーモニー北町 / 〒179-0081 練馬区北町2-17-16 電話03-3934-2878
- ◎毎週月・水・木10:00～15:00(かるがも親子の家・北町)、毎週火10:00～15:00(北町いこいの家)
- ◎月～土10:00～16:00(ハーモニー北町)

サラ (Sarah) (P32)

- 運営主体：NPO 法人 高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会
- 活動：レストランサラ / デイサービスサラ / ひろばサラ
- 資金：レストラン・デイサービス・フリースペース等の収益、会費等
- 開設年：1999 (平成11) 年 2 月レストランサラ開店 2003 (平成15) 年 5 月デイサービスサラ開業
2008 (平成20) 年 5 月ひろばサラオープン
- 建物規模：2 階建て店舗の 1 階 レストラン・ひろばサラ約 33 m²、デイサービスサラ約 50 m²
- 連絡先：〒190-0001 立川市若葉町 1-10-1 1F 電話/FAX 042-535-8239 (事務局)
<http://members.jcom.home.ne.jp/npo-sarah/>

◎月～土 11:30～18:00 (レストランサラ)

※発行図書：「サラばあさんの覚めない夢～つながりがまちを変える～」
NPO法人 高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会著

ベーターひろば (P34)

- 運営主体：NPO 法人 ファミリーセンター東京ベーター
- 活動：子育てひろば / 相談室 / 一時預かり等の運営
- 資金：地域子育て拠点事業支援費 (江戸川区) 等
- 開設年：2000 (平成12) 年 7 月
- 建物規模：3 階建て集合住宅の 1 階 2 室 約 78 m²
- 連絡先：〒134-0084 江戸川区東葛西 6-27-10-103
電話/FAX 03-3686-8350 <http://tokyo-bethel.org/>

◎月・火・水・金 10:00～16:00、土 11:00～16:00、参加費 / 1 回一人 100 円

※発行図書：「みんな集まれ! 子育てひろば ママと子どもが安らぐ居場所」森木美佐子著

おわりに

この冊子では、「協働空間」の11の事例を紹介しました。

ご紹介はできませんでしたが、

この他にも、多くの試みが各地でうまれています。

「協働空間」には、それぞれに始まった理由があります。

成り立ちも、かかわる人の顔ぶれもさまざまです。

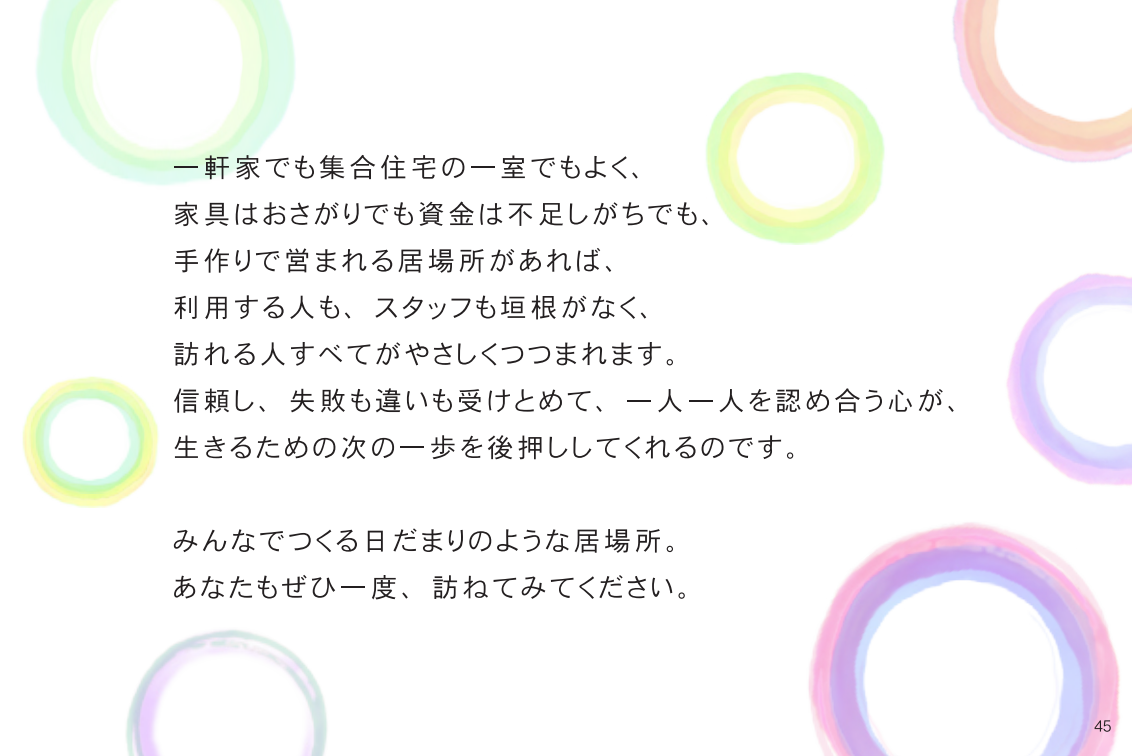
しかし、どの「協働空間」にも共通項があります。

どうしたら喜んでもらえるか、みんなが幸せになれるかを、

第一に考えていることです。

そこで気づくのは、ここでは事業やサービスの枠組みは、

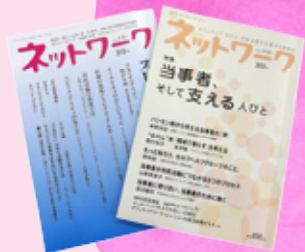
大きな意味をもたないということです。



一軒家でも集合住宅の一室でもよく、
家具はおさがりでも資金は不足しがちでも、
手作りで営まれる居場所があれば、
利用する人も、スタッフも垣根がなく、
訪れる人すべてがやさしくつつまれます。
信頼し、失敗も違いも受けとめて、一人一人を認め合う心が、
生きるための次の一歩を後押ししてくれるのです。

みんなで作る日だまりのような居場所。
あなたもぜひ一度、訪ねてみてください。

参考図書



「協働空間」に関連する、
東京ボランティア・市民活動センターの発行図書を紹介します。

○「市民が市民を支える」

～地域の協働空間を生かした実践～

東京ボランティア・市民活動センター研究年報 2001 2002 年 3 月発行 1,000 円

○ボランティア・NPO・市民活動を応援する情報誌「ネットワーク」より

303号 (2009年11・12月) にて

「つくりっこの家」クラブハウスを掲載

310号 (2011年1・2号) にて

「NPO法人 地域の寄り合い所 また明日」を掲載 各 600 円

東京ボランティア・市民活動センターは、市民社会の創造をめざし、ボランティアや市民活動を推進しています。

ボランティアガイダンスやNPO 設立相談、各種講座やシンポジウムの開催のほか、会議室や印刷室の貸し出しなどを行っています。

どうぞ、お気軽にご相談ください。

<http://www.tvac.or.jp/> ※本冊子 (PDF) を掲載しています。

東京ボランティア・市民活動センター

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
セントラルプラザ10階

電話 03-3235-1171/FAX 03-3235-0050

休館日 / 月曜・祝日・年末年始

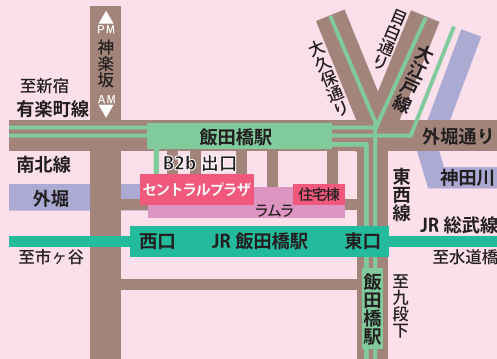
火曜～土曜 9:00～21:00

日曜のみ 17:00まで

JR 総武線 飯田橋駅 西口下車徒歩1分

地下鉄有楽町線・南北線・大江戸線

飯田橋駅 B2b 出口



発行：東京ボランティア・市民活動センター（社会福祉法人 東京都社会福祉協議会）
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 10 階
電話 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050 <http://www.tvac.or.jp/>
編集：有限会社場所づくり研究所プレイス / デザイン 鈴木信恵
印刷：共立速記印刷株式会社
発行日：2011年3月 / 発行数：1500部



この冊子は、東京都共同募金の配分金により作成しました